

第2章 計画の目標

1. 望ましい環境像

本市には、国内有数の工業団地である鹿島臨海工業地帯があり、工業都市としての一面があります。鹿島臨海工業地帯による都市化の進展は、私たちの生活に豊かさをもたらす一方で、環境への負荷を増加させている側面があることは否めません。こういった都市化によって、自然は大きく変貌しましたが、今なお利根川や常陸利根川、外浪逆浦、沖の洲地区等の豊かな自然環境が残されています。

この豊かな自然を守っていくことのみならず、より良い環境を次の世代に引き継いでいくためには、私たち「人」と環境としての「自然」とのつながりが密接であり、私たちの生活が良好な環境に支えられたものであることを改めて認識する必要があります。

私たちは、今ある環境課題を解決し、「人」及び「人の活動(産業活動)」と環境との調和と共生の実現を目指さなくてはなりません。

その上で、人間の活動によって生み出される「物」の循環だけでなく、自然についても循環を基調とした持続可能な社会の構築を図っていかなくてはなりません。

以上のことから、望ましい環境像を「人と自然が調和・共生する循環型社会のまち・かみす」と設定します。

2. 基本目標

本計画では、望ましい環境像を実現するための目標として、環境面から望まれる 5 つの基本目標を設定します。設定にあたっては、複数の課題を統合的に解決することを目指す SDGs の考え方も活用しながら、環境・経済・社会の統合的向上を進め、持続可能な社会を目指していく必要があります。

基本目標1は、気候変動のリスクの低減に貢献すると同時に、気候変動による影響に備えるまちの実現を目指すものとして「気候変動防止に貢献し、備えるまち」とします。

基本目標2は、本市の資源の有効利用を進めることで、環境への負荷が少ない循環型のまちの実現を目指すものとして「資源を有効利用し、環境への負荷が少ないまち」とします。

基本目標3は、自然環境の適切な保全と活用を推進し、人と生物とが共生する豊かさを感じることできるまちの実現を目指すものとして、「自然といきものをまもり、共生するまち」とします。

基本目標4は、健全な生活環境を守り、私たちが安心して健やかに暮らすことのできるまちの実現を目指すものとして、「健全な生活環境をまもり、安心して暮らせるまち」とします。

基本目標 5 は、人材育成や教育等の共通基盤的な観点として、「みんなが環境をまもり、創造するまち」とします。



基本目標
1

気候変動防止に貢献し、
備えるまち

基本目標
2

資源を有効利用し、
環境への負荷が少ないまち

基本目標
3

自然といきものをまもり、
共生するまち

基本目標
4

健全な生活環境をまもり、
安心して暮らせるまち

基本目標 5

みんなが環境をまもり、
創造するまち

基本目標 1 気候変動防止に貢献し、備えるまち

関連する主な SDGsの目標

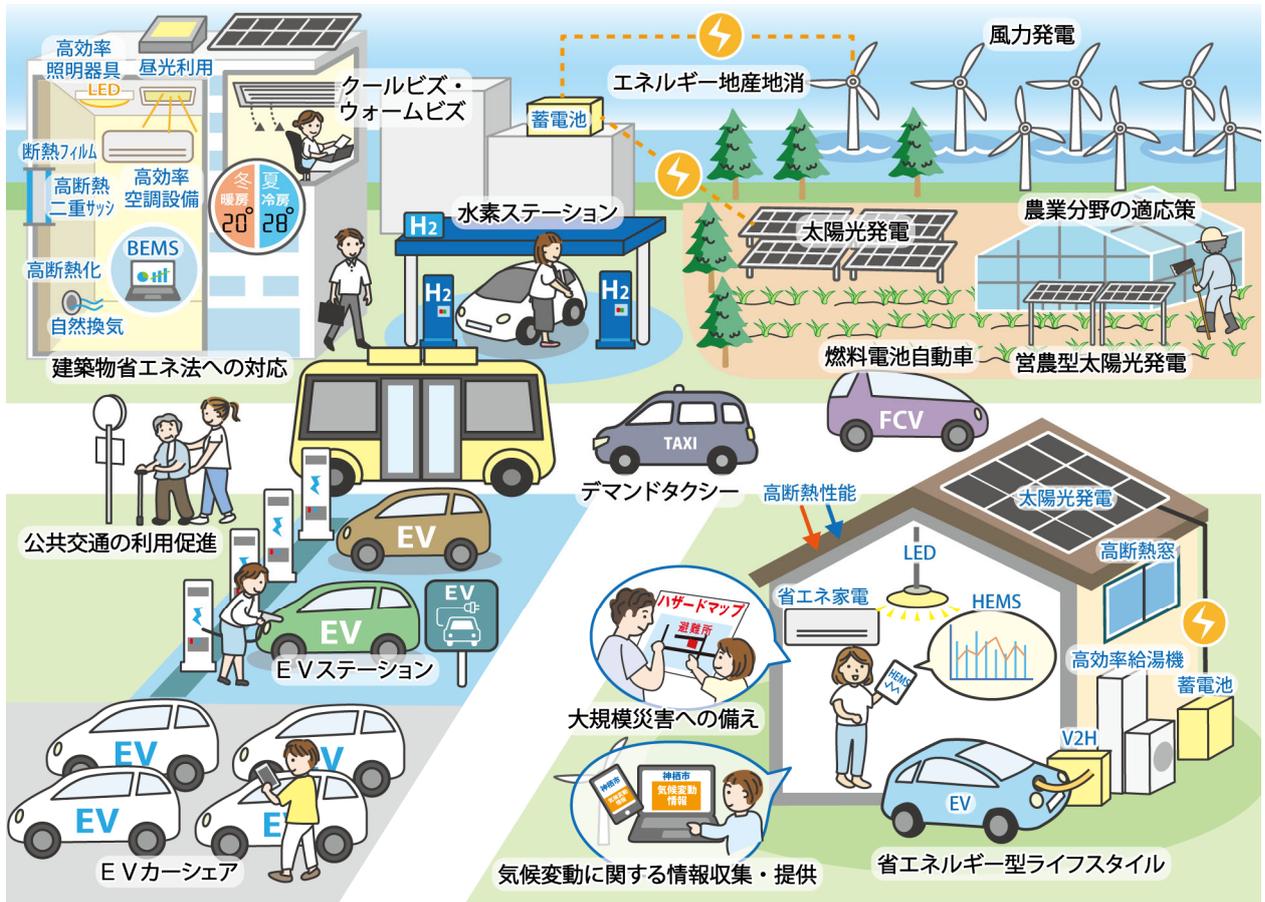


基本目標の概要

地球温暖化による気候変動は、日本をはじめとした世界各地で、大型の台風や集中豪雨、干ばつ等の異常気象の増加を引き起こしており、自然環境や私たちの生活にも様々な影響を及ぼしています。健全で恵み豊かな地球環境を次の世代に継承するため、地球環境保全のための取組を推進する必要があります。

そこで本市では、市民一人一人の省エネルギー型ライフスタイルへの転換や公共交通の利用を促し、事業者の省エネルギー対策の支援、EV のカーシェア事業の展開や EV 充電設備の設置の推進を行う等、市全体で地球環境保全に取り組みます。また、太陽光発電や風力発電といった再生可能エネルギー設備導入の促進やゼロカーボンに向けたまちづくりを推進します。防災拠点では蓄電池の設置や EV の災害時活用を図り、大規模災害等にエネルギー面で備えます。次世代エネルギーとして期待される水素・アンモニアについては、まずは水素ステーションについて事業可能性を見据えながら導入検討を進めていきます。将来予測される気温上昇や大雨の増加等の気候変動の影響については、防災や農業などにおいて関連する情報を収集・提供し、気候変動による影響への対応を計画的・体系的に進めていきます。

このように、気候変動のリスクの低減に貢献すると同時に、気候変動による影響に備えるまちの実現を目指します。



基本目標 2 資源を有効利用し、環境への負荷が少ないまち

関連する主なSDGsの目標

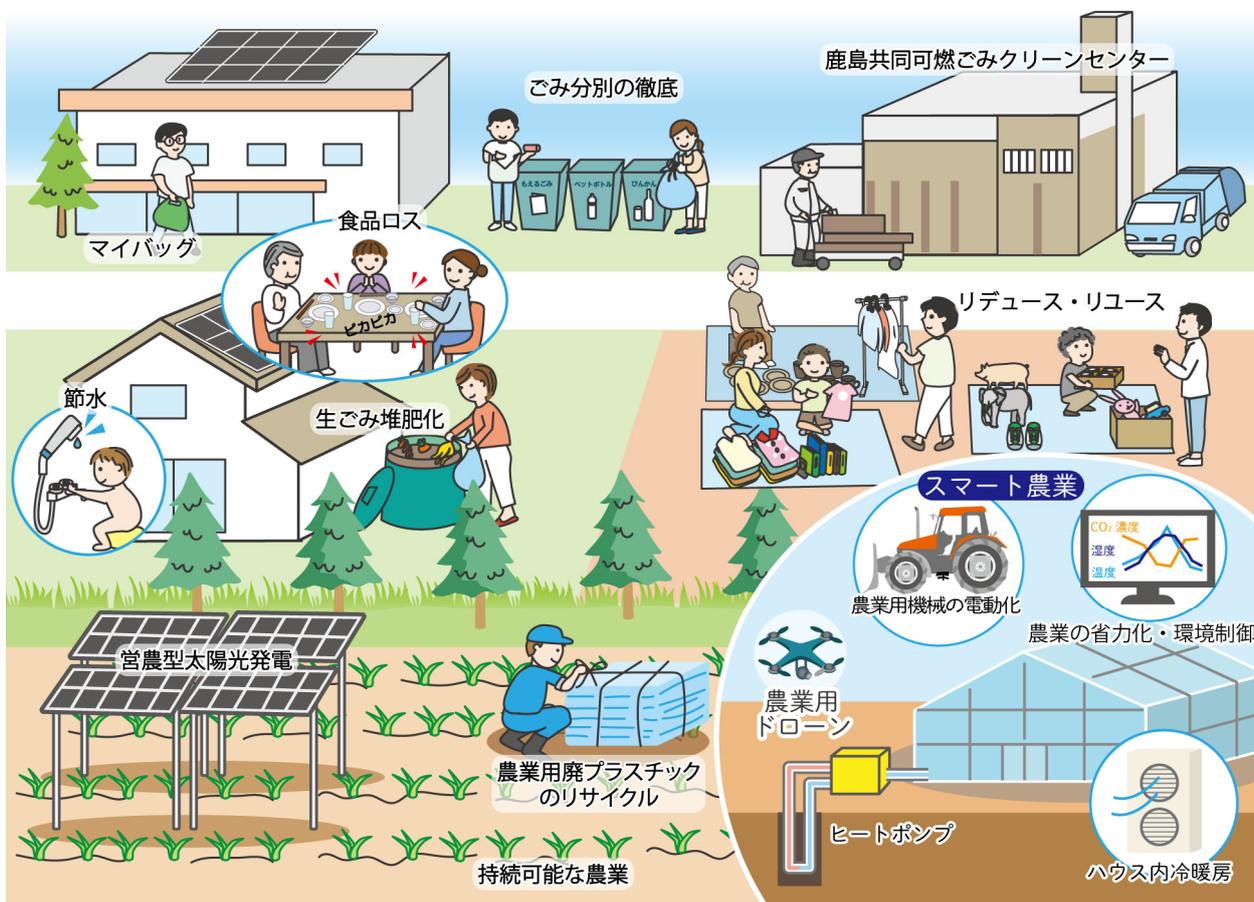


基本目標の概要

近年、社会経済活動の拡大に伴い、生活が豊かになっている一方で、廃棄物の増加や不法投棄問題といった廃棄物をめぐる様々な問題が指摘されており、「大量生産・大量消費・大量廃棄」型の従来の社会のあり方や一人一人のライフスタイルを見直し、社会における物質循環を確保することが必要不可欠となっております。

そこで、本市では、できる限り廃棄物の排出を抑制し、再利用や再資源化に努め、次に廃棄物となったものについては不適正処理の防止や環境への負荷の低減に配慮しつつできる限り循環を行います。老朽化した処理施設についても更新・整備を図るとともに適切な運用を図っていきます。水資源については有効利用を進めるとともに安全で安心できる水の安定供給を図り、計画的な土地利用の推進等により健全な水循環の実現を目指します。農業については、環境への負荷をより少なくするとともにスマート農業等での省力化・省エネ化や農地の持続可能な利用と保全・維持に努めます。

このように、本市の資源の有効利用を進めることで、環境への負荷が少ない循環型のまちの実現を目指します。



基本目標 3 自然といきものをまもり、共生するまち

関連する主な SDGsの目標



基本目標の概要

自然は心の豊かさが実感できる快適な環境をもたらし、暮らしや産業を支える貴重な資源です。本市は、鹿島灘や利根川に囲まれた豊かな水辺環境と農地、平地林、屋敷林等豊かな緑地環境を有しており、多種多様な生物(動植物)が生息しています。また、コアジサシやコウノトリといった貴重な生物の繁殖地にもなっています。本市の個性と魅力である豊かな自然環境は農業や観光等様々に活用されてきたものであり、それらの人間活動と共存しながら保全を推進していく必要があります。

そこで本市では、多様な生物の生息の場でもある豊かな自然を適切に保全するとともに、環境学習の場や人と自然とのふれあいの場として活用していきます。また、市街化が進んだ地域については公園や緑地の計画的な整備と維持管理により、うるおいのある空間の創出に努めます。近年では外来種による農業等への被害の問題も顕在化していることから、外来種の侵入防止や防除などの対策にも努めます。

このように、自然環境の適切な保全と活用を推進し、人と生物とが共生する豊かさを感じることできるまちの実現を目指します。



基本目標 4 健全な生活環境をまもり、安心して暮らせるまち

関連する主なSDGsの目標

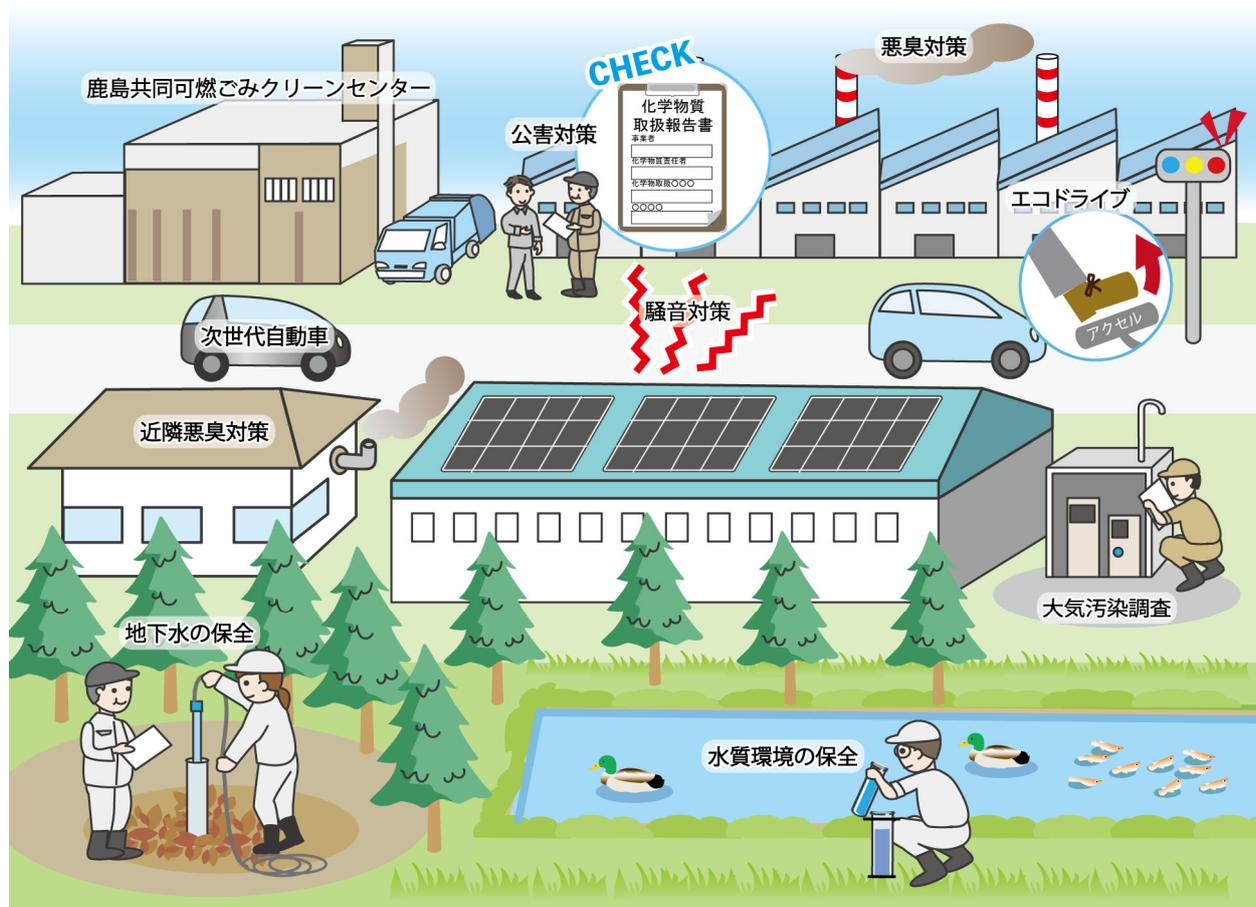


基本目標の概要

空気や水がきれいなこと、その場にふさわしい音が聞こえること等は、私たちの生活にとって重要な要素です。国内有数の工業都市として発展を遂げてきた本市では、その過程において豊かさがもたらされた反面、環境への負荷を増大させてきた側面もあります。これまでも様々な公害対策を講じてきていますが、さらなる安全な環境への取組が必要となっています。

これまで、公害防止協定やそれぞれの事業所の自主的な努力等により大気汚染をはじめとする公害の発生は大幅に改善されてきましたが、良好な水環境の形成や主に幹線道路沿道で見られる自動車騒音の悪化やにおいの問題、化学物質によるリスクの低減、市民の生活を脅かす物質の監視等、引き続き取り組むべき課題の解決に努めていきます。

このように、健全な生活環境を守り、私たちが安心して健やかに暮らすことのできるまちの実現を目指します。



基本目標 5 みんなが環境をまもり、創造するまち

関連する主な SDGsの目標



基本目標の概要

本市の環境に関する課題を解決し、次の世代により良い環境を残していくためには、市民・事業者・行政の各主体がそれぞれの責任と役割に応じた取組を自ら積極的に進めるとともに、互いの連携と協力によってより良い環境の実現を目指していく必要があります。

そのため、市民や事業者の環境保全活動を促進するための情報の提供等の取組を推進します。さらに、市民一人一人が環境に対する理解や関心を深め、より積極的に環境へ配慮した取組を実践する人を増やすため、環境教育や環境学習を推進します。

このように、市民・事業者・行政の三者による環境の諸課題に取り組み、広く市全体の環境の保全と創造に積極的に取り組むまちを目指します。

